

(令和2年5月試験研究業務月報)

業務課題：沿岸漁場環境のリアルタイムモニタリングによる
温暖化の影響評価（漁場特性の研究）

情報

急潮シーズンを控え、定置網漁場に流向流速計を設置

海洋センター、京都府定置漁業協会及び京都府漁業協同組合は、急潮^{※1} 防災策の一環として毎年春～秋季に府内の主要な定置網漁場に自記式流向流速計を設置し、府沿岸部における海水の流れの状況を調べています。

今年も、4月中旬～5月下旬にかけて当センターが6箇所の定置網漁場（舞鶴市1、宮津市1、伊根町3及び京丹後市1）に流向流速計と係留資材を届け、急潮発生シーズン前の5月中に定置網漁業者の手で設置されました。数ヶ月後には一旦流向流速計を回収してデータを読み取り、再設置する予定です。

今後は、急潮発生が予測された時にいち早く正確な情報を漁業者に伝えるとともに、得られたデータと急潮予測値を突き合わせて解析し、急潮防災に役立てます。

※1 漁具を壊す恐れのある突発的な速い流れ。概ね1ノット（秒速50cm）以上。



流向流速計と係留資材一式